

千代田区建築物環境計画書制度 環境評価書(非住宅)

- 協議完了時
- 変更時
- 工事完了時

建築物の名称 日本大学経済学部2号館

建物用途 建築物の所在地	学校, その他(駐車場) 東京都千代田区西神田一丁目3-9	敷地面積 建築面積 延床面積	756.91 m ² 510.95 m ² 5,833.10 m ² : 計算対象 5,687.60 m ²
地域 竣工日	神保町地域 2025年7月31日	階数 構造	地上 12階 地下 1階 RC造, S造

省CO2効果

削減率
39.9 %

特別優良環境建築



省エネルギー基準

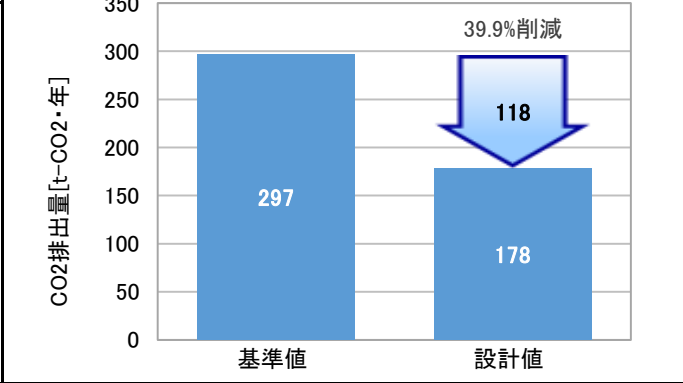
基準一次エネルギー消費量	6,055.1 [GJ/年]
設計一次エネルギー消費量	3,633.1 [GJ/年]
BEI(設計値/基準値)	0.60

CO2排出量

基準値	297 [t-CO2・年]
設計値	178 [t-CO2・年]
削減量	118 [t-CO2・年]
削減率	39.9 %

省CO2対策の概要

Low-E複層ガラスと外壁高断熱化により熱負荷を低減し、高効率ビルマル、LED照明の採用により省CO2を図った。

省CO2設備手法

- 高効率分散熱源
- 高効率中央熱源
- 高効率空調機(中央熱源)
- 変流量制御(中央熱源)
- 大温度差送水(中央熱源)
- 変風量制御(中央熱源)
- 外気導入量制御
- 外気冷房
- 自然換気(自動制御)
- 全熱交換器
- 高効率電動機
- 変風量制御
- 送風量制御
- LED照明 (範囲: 全館)
- 人感センサ (範囲: 研究室、トイレ、廊下、EVホール、パントリー、倉庫、ゴミ庫)
- 明るさセンサ
- スケジュール制御
- 初期照度補正
- 高効率給湯機
- 自動給湯栓
- 小流量シャワー
- BEMS
- その他

省CO2建築手法

- Low-E複層ガラス
 - 複層ガラス
 - 庇・ルーバー・バルコニー
 - 外壁高断熱化
- 面的エネルギー活用
- 地域冷暖房を導入
 - 地域冷暖房を将来導入
 - 既存地域冷暖房から受入
 - サプラントを設置
 - 特定電気事業者等を導入
 - 特定電気事業者等を将来導入
 - 特定電気事業者等を受入
 - 熱融通
 - 電力融通
 - 面的対策その他
 - エリアエネルギーマネジメントシステム(AEMS)を導入

創エネ手法

- コージェネ
- 太陽光発電
- その他

非常時の対応

- 非常用発電機(消防設備用以外)
- その他

未利用・再生可能エネルギー活用

- 下水熱
- 河川水熱
- 地下鉄排熱
- 地中熱
- バイオマス
- 太陽熱利用
- その他

環境負荷低減の取り組み

- 敷地と建物の被覆対策
- 水循環
- 緑の量・質の確保、生態系への配慮